

開催協議会名	令和4年第3回 津和野警察署協議会		
開催日時	令和4年9月28日（水）14時50分から16時15分までの間		
出席者	協議会委員	4人（松浦会長、田中副会長、齋藤委員、岩本委員）	
	公安委員	金崎智枝委員	
	警察署	6人（署長、副署長、交通課長、生刑課長、総務係長、地域係長）	
会議・協議	署長からの 諮問等	報告	高齢者総合対策の推進状況 警察署の取組（施策）
		説明概要	<p>交通課長説明</p> <p>当署管内の交通事故発生状況を説明後、交通施策を以下のとおり説明</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 はつらつモデル地区 当署畑迫地区を本年5月に指定 2 鹿足ケアテイカース 当署管内の高校、安全運転管理者と連携し、子どもと高齢者の交通事故防止対策を推進 3 ドライブコンテスト 本年は高齢者の参加を強力に促進 4 早めのライト点灯・上向きライトの活用 5 鹿足キラリびと 夜光反射材の着用を推進 6 セイフティコンシェルジュの情報発信 地元ケーブルテレビと連携し交通安全・防犯活動を情報発信
		答申(意見等)	<p>○ 高齢者は身体機能が低下した場合、運転免許を保有していたら、運転免許返納がいいのか、それとも失効するのがいいのか。</p> <p>回答（交通課長）</p> <p>高齢者が運転免許を返納した場合、運転経歴証明書が発行される。自治体により公共機関を利用した場合、料金の割引等のサービスが受けられる場合があるので、運転経歴証明書を保有していた方がよい。</p>

	<p>○ 各地区で交通安全講習を開催しているが、座学は受動的である。シミュレータ等の機材を活用し体験型の実技講習を積極的かつ効果的に実施していただきたい。</p> <p>回答（交通課長）</p> <p>意見を参考に、当署管内で参加・体験・実践型の交通安全講習を継続し計画していきたい。</p>
説明概要	<p>生活安全刑事課長説明</p> <p>1 特殊詐欺・悪質商法被害防止対策 太鼓谷稲成神社御朱印帳の挟み紙（防犯プリント）、心理学を用いた防犯教室等の説明</p> <p>2 高齢者行方不明事案対策 ページング・有線放送による的確な情報発信、捜索体制の確立等の対策を説明</p>
答申(意見等)	委員からの特段の意見はなし
説明概要	<p>地域係長説明</p> <p>1 高齢者に対する情報発信活動 (1) 高齢者の防犯情報入手ツール対策 (2) 調査結果に基づいた活動</p> <p>2 高齢者の交通事故対策 高齢者個別訪問</p> <p>3 特殊詐欺・悪質商法被害防止対策 特別巡回連絡 ポスティング 防犯教室 寺院への協力依頼</p> <p>4 ご長寿ハッピーデー</p>
答申(意見等)	委員からの特段の意見はなし
説明概要	<p>総務係長説明</p> <p>1 デジタルサイネージを利用した広報 広報場所、広報内容の状況を説明</p> <p>2 対話型拡声器「トークスルー」を利用した窓口業務</p>

		<p>答申(意見等)</p>	<p>○ デジタルサイネージの広報は、特定の場所のみならず、高齢者が集う場所で効果的に実施していただきたい。</p> <p>回答（総務係長）</p> <p>今後の広報場所は、公共機関、商業施設、病院等高齢者が集う場所を検討しており、関係機関と連携し、情報発信を強力に推進していきたい。</p>
		<p>報 告</p>	<p>高齢者総合対策の推進状況 警察署の取組（検挙）</p>
		<p>説明概要</p>	<p>生活安全刑事課長説明</p> <p>1 高齢者の犯罪被害状況 県下・当署管内の高齢者犯罪被害状況を説明</p> <p>2 高齢者の犯罪被害検挙状況 当署管内の高齢者犯罪被害検挙状況を説明</p>
		<p>答申(意見等)</p>	<p>委員からの特段の意見はなし</p>
		<p>報 告</p>	<p>大雨警報等に伴う対応状況</p>
		<p>説明概要</p>	<p>副署長説明</p> <p>1 当署管内における大雨警報等の発表状況</p> <p>2 災害現場等における対応状況 関係機関との連携、警察活動状況を説明</p> <p>3 災害危険箇所の状況 前回の警察署協議会において委員から指摘のあった災害危険箇所4箇所は大きい被害の確認がないことを説明</p>
		<p>答申(意見等)</p>	<p>委員からの特段の意見はなし</p>
<p>公安委員の 講評</p>	<p>○ 県全体として高齢化率が高く、高齢者が事件事故の被害に遭わないようにする活動が、非常に重要である。高齢者は、視野が狭くなる、難聴になる等身体機能が低下する。このため、交通安全講習で利用されているクイックステップ、映像シミュレータを活用し、身</p>		

体機能が低下していることを自覚させることが非常に大切である。
また、高齢者が集う高齢者サロンでの交通安全・防犯講話が非常に効果的である。

- 貴署の取組で地域包括支援センター等関係機関と連携し、高齢者総合対策の取組を推進していることに好印象を受けた。また、広報紙、ケーブルテレビ、寺院の協力を得ての広報など工夫を凝らした広報啓発活動にも好感を受けた。継続して取り組んでいただきたい。
- 交通安全・防犯等にある定型的なチラシは、見なくなる傾向にあると思料する。広報の目的を明確化し、個々具体的に簡潔明瞭な説明を記載する等創意工夫が必要である。貴署の広報についても、当方の意見を反映し啓発活動を推進していただきたいと思う。
- 災害対策は、急変事象であるがゆえに被災状況の対応が非常に困難である。地域、警察、公共機関が連携し、安全安心な災害対策が重要である。災害現場からの映像伝送による機器を利用した情報収集・伝達は、県民に情報を確実に伝達していただきたい。
- 貴重な御意見を賜り、御参会の委員各位に感謝申し上げるとともに、貴協議会の益々の御発展を祈念する。

写真

会長挨拶



金崎公安委員挨拶

署長挨拶



署長報告



取組報告（交通課長）



取組報告（生刑課長）



取組報告（地域係長）



取組報告（総務係長）



取組報告（副署長）



公安委員総括講評

